

■ブラジル：Jirau 水力発電所が運開

2016年12月20日付の記事によると、ブラジルのJirau水力発電所（375万kW）が12月16日に運開した。当初2012年に運開が予定されていたが、工事遅延により4年遅れとなった。鉱山エネルギー省（MME）によれば、発電所には7.5万kWの水車発電機が50台設置されており、イタイプ発電所とBelo Monte発電所に次ぐ国内第3位の水力発電所となる。総投資額は57億ドル。Jirau水力発電所を35年間運営する権利を有するEnergia Sustentavel do Brasilの資本比率は、フランスEngie40%、三井物産の子会社であるMizha Participaçõesと国内電気事業者であるEletrosul、Chesfの3社がそれぞれ20%となっている。